

**2014/15 Autumn&Winter
Bishu Material Exhibition
開催概要**

- (1) 名 称 2014/15 Autumn&Winter Bishu Material Exhibition
(2014/15年秋冬物)
- (2) 会 期 平成25年10月 16日(水) 13:00-18:30
17日(木) 9:30-18:30
18日(金) 9:30-17:00
- (3) 会 場 青山ベルコモンズ 9F クレイドルホール
東京都港区北青山2丁目14-6
電話 03-3475-8191・8192(展示会場直通)
- (4) 主 催 (公財)一宮地場産業ファッションデザインセンター
- (5) 目 的

尾州地域は、世界でも有数の毛織物産地として栄えてきたが、近年、安価な輸入品の増加等により、取り巻く環境は一層厳しくなっている。こうした中、安易な価格競争から脱却し、尾州産地の特長を生かした高付加価値のものづくりを一層推進していくことが求められている。従来から試みる海外市場への尾州産素材の発信、販売促進に加え、本展示会では、付加価値の高い魅力的なものづくりを強みに、回帰基調にある国内市場において、尾州産地の力を結集して販路開拓を目指す。

「オール尾州」で結束したプロジェクトチーム16社が、トレンドコンセプトや消費者ニーズを共有し、それぞれの強みを活かして開発したクオリティの高い素材を広く発信することで、新規顧客の掘り起こしを図るとともに既存顧客との関係をより強固なものとする。更には、本展示会を通じて、尾州産地全体をアピールし、産地イメージの高揚に努め、出展企業だけでなく産地全体として更なる顧客獲得を目指していく。

(6) 事業内容

展示会場の中央部分に位置するインデックスコーナーでは、各社が共有するネリーロディ社のトレンドコンセプトを基に開発した素材約160点の展示に加え、その一部をガーメント化した製品を展示することで、アパレル・小売等に尾州の魅力を発信する。インデックスコーナーを取り囲む形で設置された小間ブース内では、各出展企業が来場者と個別の展示商談会を実施する。

- (7) 出展企業 16社
- (8) 入場料 無 料
- (9) 併 催 尾州産地展20回記念アーカイブズ、
尾州匠コレクション、尾州産地写真展
(青山ベルコモンズ 10F コミュニティルーム)
- (10) 問い合わせ先 (公財)一宮地場産業ファッションデザインセンター
一宮市大和町馬引字南正亀4-1
TEL: 0586-46-1361 FAX: 0586-44-7455

平成25年10月7日

Bishu Material Exhibition

NEWS No.1

10月16, 17, 18日、青山ベルコモンズで開催

シーズン	2014/15 秋冬
会期	平成25年10月 16日(13:00-18:30)、17日(9:30-18:30)、18日(9:30-17:00)
会場	青山ベルコモンズ 9Fクレイドルホール

公益財団法人一宮地場産業ファッションデザインセンター（以下、「FDC」）は10月16日から3日間、「2014/15秋冬 Bishu Material Exhibition（BME）」を東京都港区北青山の青山ベルコモンズ9階クレイドルホールで開催する。この展示会には尾州産地の素材メーカー16社が参加、2014/15年秋冬物の新作約1,560点を展覧するほか、FDCが提携しているパリの情報企業ネリーロディ社のトレンド情報に基づいて出展各社が開発した生地160点とガーメント16点をインデックスコーナーに展示する。

会場中央のインデックスコーナーでは、今回のテーマである SMART BOHEMIAN（洗練されたボヘミアン）、VOLCANIC CONQUEROR（火山の征服者）、LADY GENTLEMAN（紳士的な女性）、ARCTIC ADVENTURE（極地の探検）の各テーマごとに生地とガーメントを展示。このインデックスコーナーは、世界でも著名な情報発信会社の提案を尾州産地が先行して製品化したものとして、毎回注目を集めている。

FDCが東京で産地展を始めて、今回で10年、20回目になる。2004年に第1回展（春夏）を開催してから13回まではJB（ジョイント尾州）東京展として、また14回目以降はオープン参加のBMEとして開催してきた。1回から19回までの累積成果は①来場者総数2万949人②サンプルリクエスト総数15万7495点という大きな成果をあげている。1回平均では来場者1,103人、サンプルリクエスト8,289点で、このサンプルリクエストが尾州産地の受注・契約の原動力の1つになってきた。

今回の展示会を前に、主催者のFDCは出展各社の同シーズンに対する販売計画（前年同シーズン金額比）をアンケート調査したが、平均で11%増という結果となった。内訳は「マイナス」が1社あるほか、残りは「プラス」ない

し「横ばい」で、プラスの最高は「50%増」となっている。

同シーズンの見通しに関しては「円安で中国への依存が減り、国内生産が増える」「原料高を売値に転嫁したいが、これは至難。輸出で売上をカバーしたい」「消費税アップの上乗せ次第」と、原料高、円安、消費税など取り巻く環境が大きなポイントになっている。それでも、秋冬物は尾州産地の得意分野だけに「一層力を入れる」方針。

それを裏付けるように、出展16社のブース出展素材はきわめて多種多様で各社の個性が前面に打ち出されている。大きくまとめると、①素材＝ウール、獣毛（カシミア、アンゴラ、アルパカ）など、②糸使い＝カラーミックス、空、意匠撚糸、ロービンなど、③テキスタイル＝ツイード、ラッセル、ジャカード、ドビー、二重・三重織、カラミ、メルトンなど、極めてバラエティー豊かである。

また、今回は尾州産地展開催20回を記念し、10階コミュニティルームを会場に①尾州産地展20回記念アーカイブズ（過去19回に出展された生地約3100点やガーメント12点、記録写真、資料の展示）、②尾州匠コレクション2013AW（8点）、③尾州産地写真展が併催される。

<参考>

○前回秋冬展3日間の来場者数1,392名

アパレル	452名	32.5%
小売	64名	4.6%
商社・服地卸	646名	46.4%
その他	230名	16.5%

<本資料のお問い合わせ>

(公財) 一宮地場産業ファッションデザインセンター

電話：0586-46-1361

：03-3475-8191（会期中）

No.	企業名	主力素材	PR
1	岩田健毛織(株)	カラーミックスのバリエーション(空調、マルチ TOP、ネップ、フリクションなど)	カラーミックス、獣毛混トリスピンファンシーヤーンにて織物、ニット、ラッセルのコーディネートを展開
		獣毛トリスピン、ロービングファンシーヤーンツイード素材	
		ローゲージニット、ラッセル素材	
2	(株)ソージェイテック	織・編によるデザインファンシーツイード	デザイン性を重視した素材表現と、ソーターグループの加工技術を生かした風合いバリエーション デザインー生産ー加工まで、一貫した体制でオリジナル素材を追求します
		オリジナル糸系によるドビー表現	
		ニットをベースにした、ソーターグループ内でのオリジナル加工バリエーション	
3	長大(株)	表と裏にウール中に綿をはさんだ三重織	従来からの定番品のレパートリーを増やし、スーパー120'Sでの商品構成を充実させます
		カノコのウール織物バージョン	
		アンゴラシープ加工	
4	時田毛織(株)	オリジナルアルパカトリスピン	オリジナルの素材提案と商品開発
		オリジナルシルクスラブ	
		オリジナルシルクトルネード	
5	中伝毛織(株)	45201(ハイツイストコードレーン)	ウール素材を中心に、着ごち、ソフトさを追求しました 他の素材も気になった方は、11/5~7に渋谷のファッションインキュベーションで開催予定の2014/15向け、中伝毛織単独AW展にも御来場ください!
		45203(バックサーモッサー緯二重織)	
		45205(もしやもしゃループ)	
6	西川毛織(株)	特殊加工表面、風合変化素材	梳毛と紡毛で、原料に拘った高品質素材を提案します 欧州羊毛のツイードや特殊加工素材にもご期待ください
		紡毛の二重織いろいろ	
		イギリス、スペイン、フランスの羊毛を使ったツイード素材	
7	日本エース(株)	エアリーなロービング	オリジナルの糸と企画でお客様にご提案いたします
		意匠を凝らした糸によるツイードバリエーション	
		ドビーやジャカードの幾何柄展開	
8	林実業(株)	軽いカラミ素材	秋冬でも薄手から厚手まで様々なカラミ織を提案します
		トリスピンループ使いのツイード素材	
		意匠系使いのライトファンシー素材	
9	(株)ヒラノ	カラーTOP 意匠系	カラフルなTOP意匠系使いの織物、ジャージーと表面感にこだわった素材の提案
		細番手の紡毛	
		ジャカード	
10	ファインテキスタイル(株)	ファンシーツイード	バリエーション豊富な先染め素材を多数準備しました それぞれ各色反まで準備しております みなさまのご来場お待ちしております
		ジャカード織物・ジャージー	
		先染めチェック	
11	みづほ興業(株)	メタリックウール	表情感のあるアウター素材を中心に自社独自の加工で仕上げました
		ラッセルロービング	
		エアリーキューブシュガー	

No.	企業名	主力素材	PR
12	宮田毛織工業㈱	ウール 100%、ウール混の TOP 系展開	8 ゲージ～40 ゲージまでの多種多様な機種を背景にカシミア・ウール、綿、合繊など幅広い商品構成で提案します
		カシミア混でのアウターからインナーまで提案	
		ニットメルトンが無地から先染ジャカードまで提案	
13	虫文毛織㈱	コート素材	織物、ニット、ラッセル、加工物等幅広く素材を提案します
		二重織	
		後加工(ニードル、ボンディング等)	
14	森織物(資)	ウール/トリアセテート/ポリウレタン混紡サイロスパン	ウール/トリアセテート混紡系使いの商品を中心に展開します
		流れ空調サマーツイード	
		タテレーヨン特殊紡績糸	
15	㈱モーリタン	モールニット	流行の兆しが見えるもの、また全く新しい素材の開発をしていますので是非見に来て下さい
		ストレッチ裏毛テンセルタイプ	
		デニムニット起毛タイプ	
16	渡六毛織㈱	アルパカシャギー	ファンシーツイードや、経キュブラを使ったユニークなオリジナル商品を提案します
		ファンシーツイード	
		経キュブラツイード	

平成25年10月22日



Bishu Material Exhibition

NEWS No. 5(最終)

1社平均938点のサンプルリクエスト

シーズン	2014/15 秋冬
会期	平成25年10月 16日(13:00-18:30)、17日(9:30-18:30)、18日(9:30-17:00)
会場	青山ベルコモンズ 9Fクレイドルホール

公益財団法人一宮地場産業ファッションデザインセンター(以下、「FDC」)は、第7回 Bishu Material Exhibition(以下、「BME」)を10月16日から18日の3日間、東京都港区の青山ベルコモンズで開催し、3日間合計で1,603名が来場、サンプルリクエストは15,010点となり、いずれも過去最高を記録した。

今回のBMEには尾州産地の素材メーカー16社が参加、2014/15年秋冬物の新作1,560点と、FDCが提携しているパリの情報企業ネリーロディ社のトレンド情報に基づく開発素材171点を展示した。過去最高の来場者、サンプルオーダーを記録したことについて、大手アパレルのデザイナーは「継続は力。ネリーロディが提供するトレンド情報を、高品質な素材開発に活かす尾州産地の素材開発力がファッション界で広く認められた結果」と指摘していた。

今回でBMEは、前身の「ジョイント・尾州東京展」と合わせ20回目にあたり、出展各社も大きな期待を寄せていた。開場に先立ちFDC理事長である谷一夫一宮市長は、「20回を機にますます盛況になることを祈念している」とのメッセージを寄せた。

会期初日は台風26号の影響で交通機関の乱れもあり来場が危ぶまれる向きもあったが、台風が東京を通過した後の午後1時からの開場ということもあり、初日は238名が来場した。これは前回の秋冬展をわずかに5名下回る結果となり、2、3日目の来場者増に期待を抱かせた。最終的に、会期中の来場者は1,603名(対前年同期比15%増)と過去20回の東京展の最高を更新した。来場者の業種別内訳はアパレル575名(構成比35.9%)、小売69名(同4.3%)、商社・問屋718名(同44.8%)、その他241名(同15.0%)で、前回秋冬展に比べてアパレル(前回秋冬32.5%)の割合が増加した。

アパレルの主な来場者は(株)オンワード樫山、ワールド(株)、(株)三陽商会などの大手総合アパレルから専門店アパレル、DC(デザイナー・キャラクター)アパレルまで幅広く、小売でも百貨店、専門店やセレクトショップが来場した。百貨店の来場者からは、PB商品のための素材探しをしているというコメントがあった。

一方、サンプルリクエスト数は3日間合計で延べ2,100社から15,010点に達し、過去の秋冬展最高の14,021点(10年10月展)を7%上回りこちらも過去最高となった。

サンプルリクエストの業種別内訳はアパレルが延べ91社から6,362点(構成比42.4%)、小売が延べ44社から302点(同2.1%)、商社・問屋が延べ1,146社から8,209点(同54.7%)、その他が延べ19社から137点(同0.9%)であった。また、サンプルリクエストの出展者別の最高は1,728点で、1社平均では131社から938点となった

主催者のFDQは会期中に来場者アンケートを実施し、来場目的を聞いたところ、トレンド把握が55.7%に対して商談が37.7%であった。この高い商談率について出展者は「コンバーターが製品のOEM(相手先ブランドによる生産)に力を入れており、生地在庫リスクを回避するところが増えた。そのためアパレルが直接トレンド確認や商談を行った」と分析していた。アンケートでは95.8%が「関心素材があった」、63.9%が「会場でサンプルリクエストした」、21.8%が「後からサンプルリクエストする」と回答しており、ビジネス本位の展示会となった。

また、尾州産地に対する要望としては「新商品開発」が35.6%、「尾州らしさ(意匠力)の追求」は23.1%で尾州らしい新製品開発が上位を占めた。なお、アンケートではBMEへの来場回数について、「今回が初めて」という回答が19.4%を占め、新規取引先の開拓という展示会の1つの目的に添う内容となった。

来場者から出展企業に寄せられた主な意見には、商品に関しては「バリエーションが増えた」「ツイードが人気」「シャギー、ミルド圧縮タイプが多い」「リバーシブル、メルトン系が多い」「二重織が目立つ」などがあった。展示方法そのものに対しては「ディスプレイが上手だ」「カラーサンプル系が良かった」などの意見があり、好評だった。

また、今回は尾州産地展開催20回を記念し、10階コミュニティルームにて尾州産地展20回記念アーカイブズ、尾州匠コレクション2013AW、尾州産地写真展を併催し、会期中667名の来場を記録した。来場者からは、「展示されている匠の作品にもデザインイメージを彷彿させる魅力があった。」等の意見が寄せられた他、アーカイブズに展示した生地のサンプルリクエストを望む声も聞かれた。

主催者のFDCは会期中に来場者アンケートを実施（回答数 613、回収率 38.2%）した。
結果は以下の通り。（3日間計：確報値）

<来場目的>

トレンド把握	55.7%
商談	37.7%
その他	6.6%

<来場契機>

FDCのDM	32.3%
出展企業のDM	53.3%
新聞記事	2.6%
新聞広告	0.3%
ホームページ	0.5%
SNS	0.2%
その他	10.8%

<尾州産地展への来場回数>

初めて	19.4%
2-5回目	37.3%
6-10回目	22.2%
11回目以上	21.1%

<商談>

あった	60.8%
なかった	39.2%

<関心素材>

あった	95.8%
なかった	4.2%

<サンプル請求>

会場で請求した	63.9%
後から請求する	21.8%
しない	14.3%

<尾州産地に求めるもの>

新商品開発	35.6%
マーケット情報に基づくものづくり	10.5%
コストの削減	9.3%
生産サイクルの短縮	5.2%
後継者の育成	6.5%
春夏物の充実	3.8%
尾州らしさ（意匠力）の追求	23.1%
その他	6.0%

<第7回 2014/15 AW BME の来場者の内訳>

	1日目	2日目	3日目	計
アパレル	61名	283名	231名	575名 (35.9%)
小売	8名	27名	34名	69名 (4.3%)
商社・問屋	124名	352名	242名	718名 (44.8%)
その他	45名	126名	70名	241名 (15.0%)
計	238名	788名	577名	1,603名 (100.0%)

(参考) 過去の来場者内訳 (カッコ内は構成比)

	アパレル	小売	商社・問屋	その他	計
第1回	520名 (38.7%)	41名 (3.0%)	576名 (42.8%)	208名 (15.5%)	1,345名
第2回	391名 (35.4%)	52名 (4.7%)	527名 (47.8%)	134名 (12.1%)	1,104名
第3回	451名 (35.3%)	64名 (5.0%)	562名 (43.9%)	202名 (15.8%)	1,279名
第4回	520名 (40.1%)	85名 (6.5%)	512名 (39.5%)	181名 (13.9%)	1,298名
第5回	452名 (32.5%)	64名 (4.6%)	646名 (46.4%)	230名 (16.5%)	1,392名
第6回	508名 (36.2%)	60名 (4.3%)	624名 (44.5%)	211名 (15.0%)	1,403名

<第7回BMEのサンプルリクエスト状況>

	アパレル		小売		商社・問屋		その他		計	
	社数	点数	社数	点数	社数	点数	社数	点数	社数	点数
1日目	79	588	17	143	177	1,451	10	58	283	2,240
2日目	422	2,988	3	11	581	4,151	6	66	1,012	7,216
3日目	390	2,786	24	148	388	2,607	3	13	805	5,554
計	891	6,362	44	302	1,146	8,209	19	137	2,100	15,010

(参考) 過去のサンプルリクエスト数推移

	出展者数	来場者数	サンプルリクエスト数
第1回 (AW)	21社	1,345名	14,021点
第2回 (SS)	19社	1,104名	8,967点
第3回 (AW)	17社	1,279名	11,495点
第4回 (SS)	15社	1,298名	10,110点
第5回 (AW)	16社	1,392名	11,090点
第6回 (SS)	16社	1,403名	11,190点

この件に対するお問い合わせはFDCまで。(0586-46-1361)